2026年日本平和大会実行委員会ニュースno.8

発行:2026年日本平和大会実行委員会（事務局＝日本平和委員会内） 2026/9/28
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

沖縄県知事選のくやしさ乗り越え、日本全土の戦争拠点化を許さない思いを集め、日本平和大会を成功させよう 第９回実行委開催



9月17日午後、オンラインで第８回実行委員会を開催。12団体と神奈川県実行委から17人が参加しました。

実行委員会としても重視してきた沖縄県知事選挙が残念な結果となりましたが、これをどう受け止めるかは平和大会成功にとっても重要なことであり、冒頭、東森安保破棄中央実行委事務局長から、以下の問題提起がありました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■沖縄県知事選挙について 沖縄県知事選は自民党などが推す古謝氏が当選し、３選をめざしたオール沖縄の玉城デニーさんが敗北する残念な結果となりました。

今回の知事選挙に対して私たちは、辺野古新基地反対・普天間基地の撤去、沖縄を再び戦場にさせないことは、「戦争する国づくり」をすすめる高市政権とのたたかいと位置づけ、支援に全力を挙げました。

選挙結果は残念ですが、今回の選挙戦で、高市政権による「戦争する国づくり」を許さないため、沖縄県民と全国が連帯したたたかいが繰り広げられたことは、大きな意義を持つものです。

選挙戦の中では、この間明らかになった「辺野古新基地ができても普天間基地は返還しない」との米国防総省の報告書と、その事実が明らかになっても「普天間返還が第一」とうそぶく高市政権の欺瞞性を追求しました。

また、知事選挙中の９月８日には、発がん性リスクや子どもの発育への影響が指摘されている有機フッ素化合物（PFAS）汚染をめぐり、在日米軍が2023年12月に沖縄県の嘉手納、普天間の両基地が汚染源だと認め、その事実を公表しても構わないとしていたにもかかわらず、選挙への影響を考えてか、日本政府の独断で隠ぺいしていたことが明らかになりました。こうした問題は、今後も追及が必要な重大問題です。

SNSを使った悪質なデマ攻撃が大規模に繰り広げられ選挙をゆがめた問題も重大です。

自民党県政が復活すれば、基地被害が集中する沖縄の問題解決は、一層遠のくことは明らかです。全国と連帯した運動をさらに大きくし、基地のない平和な沖縄をめざす県政を取り戻すたたかいがこれから始まることになります。

平和大会成功をめざすとりくみの中に、沖縄との連帯を改めて位置づけ、奮闘しましょう。

意見交換では、支援を行った各団体から、支援活動の取り組みなどが交流されました。沖縄県民が守ってきた本来あるべき民主的な選挙のやり方に圧力かかっていること、一方でSNSを使った誹謗中傷が野放しにされていることなど指摘されました。

そして、今回の沖縄県知事選挙の結果を踏まえ、この秋の安保３文書見直し、全国の軍事要塞化、憲法改悪目指す高市政権の動きを打ち破る日本平和大会に向けた運動と、それを結集し交流する2026年日本平和大会は極めて重要になっていることを確認し合いました。

実行委員会では、沖縄県知事選挙の振り返りをふまえ、大会の魅力と意義をさらに討議するとともに、実務的な面でもいくつか確認しました。

■国際シンポ　視聴会を設けよう！ 在外米軍基地の撤去をめざすアメリカ・DSA、イラン攻撃のための米軍基地使用を拒否したスペインなど、国際法違反の無法な戦争の拠点となっている米軍基地を包囲する、アメリカ自身の中での運動、NATO 加盟国での運動の交流は、私たち日本の運動を励まし、確信を与えてくれるものになるでしょう。

今回、開会集会のオンライン配信はありませんが、国際シンポをみんなでは視聴し、確信を共有し、各地のたたかいの力にしていきましょう。

■開会集会　ペンライトも持参して 全国のたたかいの交流では、沖縄の今後のたたかい、長射程ミサイル配備反対運動、特定利用空港・港湾反対運動、若者活動などが登壇します。各地の活動の力になると思います。最後に憲法守れの運動。ペンライトを持参し、みんなで憲法守れの思いを表しましょう。＊手話通訳あります。すみません保育室は設けることができません。

★今年の開会集会は、体制の都合上オンライン配信はありません。

申し訳ありません。録画して、後日視聴（有料）していただけるようにします。

■「学びと交流のつどい」「分科会」　2号チラシに詳細載せます！

大会の魅力である、現地実行委企画の「学びと交流のつどい」と実行委企画の「分科会」。その内容と魅力が伝わる２号チラシを現在作成中。10 月初旬に届くようにします。

■オプショナル・動く分科会およびホテルの申し込みについて

９月１日から受付が始まっています（ホテルは任意）。特に都道府県実行委事務局のみなさん、集約と申し込みをよろしくお願いいたします。オプショナルは、申し込みがあり次第、順次富士国際に申し込んでください。オプショナル担当をお願いしている中央団体は、希望がありましたら事務局にお知らせください。

■大会本部と中央実行委員会のホテルについて

本部事務局用のホテルは「東横イン・横浜スタジアム前１」（27-28 日連泊用）とします。中央団体で同じホテルでの宿泊を希望される方は、事務局まで（heiwataikai@j-peace.org）お知らせください。

プレ企画 Part3　「私たちの港と空が危ない！『特定利用指定』がもたらす地域社会への影響と平和の未来（仮）」

- **日時**　10 月 28 日（水）18 時半～20 時
- **場所**　全労連会館３Ｆ　全労連会議室
  Zoom 併用　ミーティング ID：859 0058 0259　パスコード：123456
  https://us02web.zoom.us/j/85900580259?pwd=gIJfzycUqsykpgp8Uea7YYjt5aCleV.1
- **内容**　報告①「民間の港を軍港化させるな！港湾指定の危険性を考える（仮）」、
  報告②「『特定利用』の先にあるもの―空港・港湾の軍事利用と自衛隊法 103 条（仮）」
  質疑応答・経験交流など

プレ企画 Part4「自治体による名簿提供とのたたかいの交流（仮）」

- **日時**　11月 8 日（日）13 時半～16 時
- **オンライン　・内容　RYU・とも裁判、各地の取り組み（相模原、群馬県）、交流**

★★ 次回（第９回）実行委員会　10 月16 日（金）15 時～17 時（オンラインにて）